



地域影響報告書

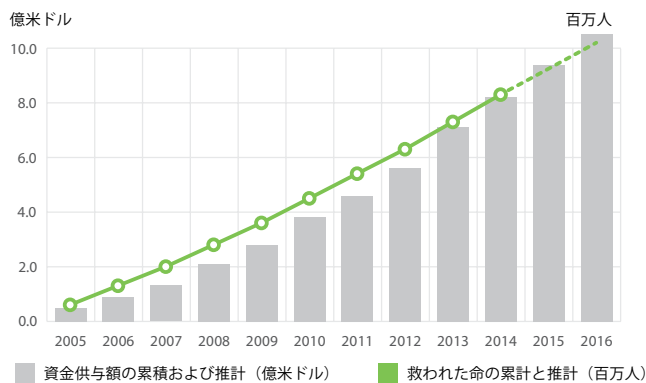
アジア太平洋地域

グローバルファンド(世界エイズ・結核・マラリア対策基金)は、アジア太平洋地域¹の三大感染症の克服を目指して、各国政府、保健医療専門家、支援者、市民社会、HIV・結核・マラリア感染者と連携して活動に取り組んでいます。これまでに感染症の治療と予防、強靱で持続可能な保健システムの構築のために66億ドルを拠出してきました。これはグローバルファンドの財源の約4分の1に相当する額です。

グローバルファンドが支援するプログラムによって、これまでにアジア太平洋地域で940万人の命が救われたほか、120万人のHIV感染者が抗レトロウィルス療法を、960万人の結核患者が治療を受けています。また、マラリア対策に効果の高い蚊帳8000万帳が配布されました。

グローバルファンドの支援国は、三大感染症の対策プログラムを自ら計画し、責任をもってそれを実施しています。世界で最大の成果を挙げたために、グローバルファンドでは疾病負荷が最も

グローバルファンドが支援するプログラムを通じて救われた命の数 (アジア太平洋地域)



¹ 本報告書においてグローバルファンドが支援するアジア太平洋地域の国とは、アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、カンボジア、中国、フィジー、インド、インドネシア、北朝鮮、ラオス、マレーシア、モルディブ、モンゴル、ミャンマー、ネパール、パキスタン、バブアニューギニア、フィリピン、ソロモン諸島、スリランカ、タイ、東ティモール、バヌアツ、ベトナムなどをいう。

120
万人

120万人のHIV感染者が抗レトロウィルス療法を受けました

960
万人

960万人が結核の検査と治療を受けました

8,000
万帳

8,000万帳の殺虫効果のある蚊帳がマラリア対策として児童や家庭に配布されました

高い地域、命を救う予防や治療を受けることが最も困難な地域、保健システムが脆弱でそのままでは感染症の対策も難しい地域に優先的にかつ戦略的に資金を供与しています。グローバルファンドによる各投資の90%超が低・中所得国へ、95%超が疾病負荷の高い国に充てられています。

HIV

アジア太平洋地域のHIV感染者数は、2014年の時点でサハラ以南アフリカに次ぐ500万人に上っています。しかし、同地域で急増していた感染者数は2000年を境に鈍化に転じ、最新の調査によると新規HIV感染者の数は2000年と比べて31%減少していることが明らかになりました。この進展により流行拡大に歯止めがかかり、減少傾向に転じていることが伺えますが、HIV流行を克服するためには、今後も財政的な支援と政治的な関与が必要となります。

HIV感染者は特定の地域のキーポピュレーション(高い感染リスクに晒されている集団)に集中しています。アジア太平洋地域の有病率は一般の成人人口では約0.2%ですが、例えばベトナムでは、男性同士の性的接触による有病率は約9%にも上ります。また、ミャンマーの性産業労働者の有病率は6%、注射薬物使用者では45%にもなっています。

ニーズはコミュニティによって異なるため、個別のアプローチが必要となりますが、グローバルファンドの支援は、このような集団に直接支援の手が届くようなプログラムに向けられています。

バンコクの歓楽街「ソイ・カウボーイ」の現地団体「スイング」は、地元のバーやクラブで働く18歳から25歳までの女性約1000人を対象に支援の手を差し伸べています。女性たちの多くは地方からの移住労働者で、性感染症に関する知識が不十分です。スイングでは、コンドームの配布、性教育セミナーの実施、HIV検査の提供を行っています。2014年、検査を受けた女性の4%がHIV陽性と判定されました。



マラリア

アジア太平洋地域の国々ではマラリアのない未来に向かって大きな前進がみられています。マラリアによる死亡者数は2000年にはアジア太平洋全域で6万3000人に上りましたが、2014年には3万6000人となり、この間に43%の減少がみられました。しかしこうした進展の一方で、アルテミシニンに耐性を示すマラリア原虫が出現するなど、マラリアがまだまだ大きな問題であることに変わりはありません。

アジア太平洋地域では約23億人がマラリア感染のリスクに晒されており、特にリスクが高いのは、インド、インドネシア、ミャンマー、パプアニューギニア、ラオス、カンボジアです。しかし、継続的な取り組みとパートナーシップによって、マラリアによる死亡率は過去15年に急激に減少しています。バングラデシュ、ブータン、北朝鮮、ネパール、東ティモール、スリランカ、カンボジア、中国、マレーシア、フィリピン、韓国、ソロモン諸島、バヌアツ、ベトナムでは、全体でマラリア発症者が75%減少しました。

グローバルファンドが供与する資金は、アジア太平洋地域のマラリア対策に必要な外部からの資金援助の86%を占めています。グローバルファンドが支援するプログラムによって、これまでに殺虫効果のある蚊帳8000万帳が配布されています。また、屋内残留殺虫剤噴霧もマラリア蔓延防止の効果的な介入として行われ、ブータンと北朝鮮は現在、マラリア撲滅に至る様々な段階の中で「撲滅前段階」にあります。

こうした進展が見られる一方で、抗マラリア剤への耐性の問題に迅速に対処しなければ、これまでの進展が損なわれる恐れがあります。アルテミシニンは世界的に最も有効な抗マラリア剤の主要化合物ですが、これに耐性を示す原虫がカンボジア、ラオス、ミャンマー、タイ、ベトナムで報告されています。これがインドからアフリカにまで広がった場合には、その世界的な影響は深刻なものとなります。

この問題に対してグローバルファンドの「アルテミシニン地域イニシアチブ(RAD)」は、地域全体で取り組んでいます。大メコン圏5カ国の保健省は供与された1億ドルの援金で殺虫効果のある蚊帳の配布を拡大し、また国境地域の移住労働者に特に

焦点を当てながら、薬剤耐性が確認された地域の症例管理にも積極的に資源を投入しています。現在、監視システムの拡充を図っており、低水準の抗マラリア剤の販売を止する取り組みが行われています。こうした支援は地域を限定したものですが、これを補完するアジア太平洋リーダー・マラリア・アライアンス(Asia Pacific Leaders Malaria Alliance)で、政治主導の事業として広範な地域のマラリア克服をアジェンダに掲げています。



© The Global Fund / Jonas Glatzer

テ・テ・マーの4歳の息子ミョーは、4日間高熱が続き、その間、嘔吐と下痢の症状がありました。訓練を受けたコミュニティボランティアがミョーの症状に気づき、マラリアを疑ってコートーン地域病院を受診させました。ミョーの表情は暗かったものの、看護師が迅速診断検査を実施する間、じっと我慢していました。結果は陰性、マラリアではなかったため抗マラリア剤は処方されませんでした。マラリアと診断されていないのにマラリアの治療薬を処方することは薬剤耐性が出現する主要因の一つです。しかし、グローバルファンド、国連プロジェクト・サービス機関、ミャンマー保険省のパートナーシップによって、この問題への対応が進められています。この病院ではすべての妊婦にHIV検査も実施しており、HIVの母子感染をゼロにするという目標に貢献しています。



© The Global Fund / John Rae

結核

1990年以降、結核を克服する取り組みには大きな進展が見られています。結核による死亡率は47%減少し、有効な診断と治療のおかげで、2000年から2014年の間に4300万人の命が救われたと推計されています。ミレニアム開発目標の一つである2015年までに結核の有病率と死亡率を1990年の水準から半減させるという目標を達成した国の中にはアジア太平洋地域の国も含まれています。しかし、こうした進展にもかかわらず、結核は依然として貧困層を中心に、また特にアジア太平洋地域を中心に命にかかわる重大な脅威となっています。結核はHIVと並んで最も命にかかわる感染症の一つに挙げられています。アジア太平洋地域は新規結核発症者の64%を占め、世界全体に占める割合が特に高いのがインド(23%)、インドネシア(10%)、中国(10%)です。2014年、アジア太平洋地域では**67万人**が結核によって死亡していますが、そのうち**6万9000人**がHIV感染者でした。

多剤耐性結核(MDR-TB)は公衆衛生に対する大きな脅威となっており、そのためコストと複雑さが増大し、治療期間も伸びています。新規結核発症者の約3.3%、さらに過去に結核の治療を受けたことがある結核発症者の20%がMDR-TBと診断され、その大半を占めるのがアジアです。MDR-TBの蔓延に歯止めをかけ、これを減らすためには、まずアジアで予防・治療・ケアを優先的に行う必要があります。グローバルファンドでは資金の多くをMDR-TB対策に供与しており、2002年以降、

全世界で21万人の発症者の治療を支援してきましたが、その大半がアジア太平洋地域です。

アジア太平洋地域では、グローバルファンドが支援するプログラムが、結核の治療・ケアへのアクセス向上を目指してさまざまなパートナーと協力し、**960万人**の結核治療を支援しています。パキスタンでは、グローバルファンドと民間企業二社が協力してアクセスの拡大に努めています。

女性と女兒

グローバルファンドではジェンダー不平等の解消に取り組むプログラムや、保健医療サービスを女性や女兒に届けるプログラムに投資しており、リプロダクティブ・ヘルスの向上や妊産婦・新生児・子ども・青少年の保健改善事業との連携を高めるような支援を行っています。グローバルファンドの支援額の55~60%が女性・女兒を対象とした事業に向けられており、女性・女兒のエイズによる死亡新規HIV感染の減少に役立っています。また、グローバルファンドが支援するプログラムでは、女性に対する暴力の防止と被害者のケアも目標に掲げています。パプアニューギニアでは、女性に対する暴力がジェンダーに関する問題の中で最も重大であることが確認されており、女性・女兒のHIV感染の大きな原因となっています。グローバルファンドとパートナーは、性的暴力の被害者のための臨床・心理社会的サービスをHIVプログラムの中に取り入れています。

インドネシアで2015年に実施した有病率調査で収集した質の高いデータから、結核の有病率は前回の推計より高いものの、罹患率と死亡率は着実に減少していることが明らかになっています。インドネシアでは結核の治療・ケアへのアクセス向上の取り組みの一環として、ベダキリン(MDR-TB治療の新薬で、現在使われている治療薬よりも副作用が少ないことが証明されているもの)を使用する試験的なプロジェクトを展開しています。



© The Global Fund / John Rae



© The Global Fund / John Rae

強靱で持続可能な保健システム

ジカ熱、エボラ熱、鳥インフルエンザが示すことは、次の大流行を予測することは困難だが、いつかは発生するという事です。また、こうしたアウトブレイクでは、流行の規模と保健システムの強靱さが直結していることを改めて認識させられます。例えば、ナイジェリアやセネガル、マリなどの保健システムが比較的強靱な国では、迅速なエボラの封じ込めに成功しました。グローバルファンドの重要な使命はHIV・結核・マラリアの克服ですが、その実現のためには施設やヘルスケアの改善、医療従事者の訓練、情報管理、コミュニティ支援や対応の強化への投資が必須です。HIV・結核・マラリアの治療・予防に対するグローバルファンドの投資は、三大感染症への対応と国全体の保健システムを改善し、ケアの質、データ・トラッキング、サービスの向上につながります。グローバルファンドの投資額の40%が保健システムの改善に充てられています。

効率の向上

各国が保健分野への予算配分を拡大させることは、保健プログラムの持続可能性に極めて重要です。プログラム実施国との強力なパートナーシップによって2015年～2017年の各国による国内投資額は45億ドル増加しています。これは2012年～2014年の水準から52%の増加です。タイでは、2017年までに三大感染症の克服に向けたプログラムをグローバルファンドの支援から完全に政府による資金援助の下での実施に移行する予定です。

新たな効率の向上は資源の更なる有効活用にもつながっています。グローバルファンドは2015年までの2年間で物資調達コストを5億ドル以上削減しました。また、コカ・コーラ、ミュンヘン再保険、スタンダード銀行などの民間パートナーと連携し、パートナーのサプライチェーンや財務管理、リスク管理を改善しています。インドネシアではグローバルファンドが、治療・ケアへのアクセス向上のためにオーストラリア外務貿易省が

支援する世界銀行のマルチドナー信託基金と連携して、HIVと結核を医療保険に組み入れています。ソロモン諸島でグローバルファンドが採用しているのが、「キャッシュ・オン・デリバリー（サービス提供引換え払い）」型の新しいアプローチです。これはプログラムを適切に実施した場合に限り、グローバルファンドの支援金が政府に支払われるというもので、このアプローチによって保健分野への資金拠出の効率化が図られ、ドナー国のリスクは最小限に抑えられます。フィリピンでは、シェルとのパートナーシップによって殺虫効果のある蚊帳の価格を適正なものにし、パプアニューギニアでは、オイルサーチヘルス財団との特別なパートナーシップによって、プログラムの有効性と効率性が向上しています。

2016年初頭、グローバルファンドはWambo.org（品質が保証された医薬品と保健医療物資を最適価格で調達するためのオンラインマーケット）を立ち上げました。wambo.orgの利用が実現する効率性の向上によって、グローバルファンドが支援するプログラムには2020年までに1億ドルのコスト削減が見込まれます。

グローバルファンドについて

グローバルファンドはHIV・結核・マラリアの克服を推進する21世紀型のパートナーシップとして設立されました。政府、市民社会、民間企業、感染者集団とのパートナーシップによって、グローバルファンドは年間40億ドル弱を動員・投資し、100カ国以上の現地の専門家が運営するプログラムを支援しています。グローバルファンドの運営費は管理する資金のわずか2.3%となっており、これは効率性が極めて高いことを反映しています。私たちはさまざまな障壁を乗り越え、革新的なアプローチを取り入れながら、最適なサービスを感染者に提供することに取り組んでいます。

2016年 5月
theglobalfund.org